

2021年6月28日

東急不動産株式会社

～東急不動産の学生レジデンス CAMPUS VILLAGE～

京都精華大学との産学連携 “ThinQ Life! Project” 発足

京都精華大学「社会実践力育成プログラム」に講座開設

産学連携のワークショップで学生が学生レジデンスの新規アイデアを提案

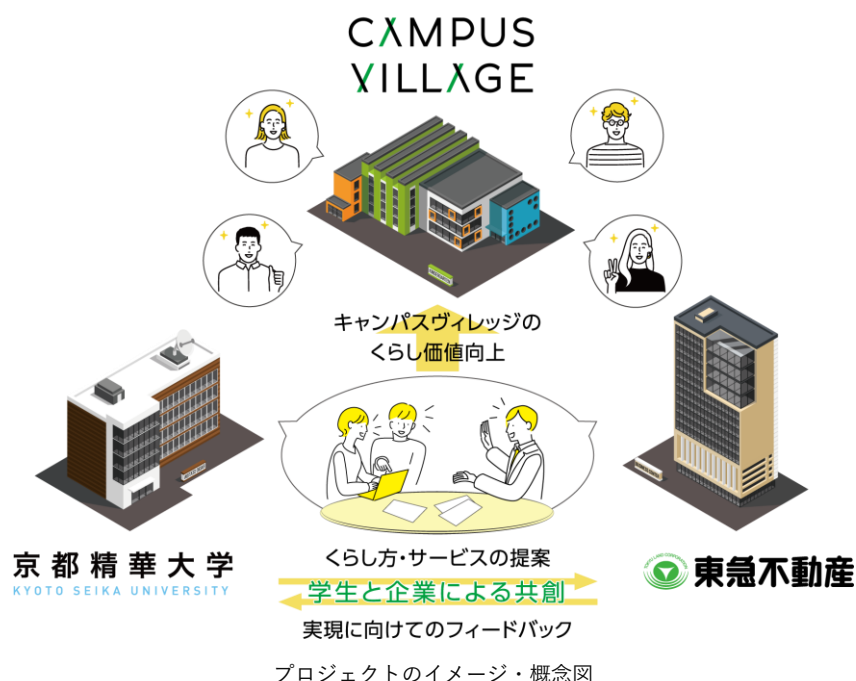
東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志 以下、「当社」）は、学校法人京都精華大学（京都市左京区、学長：ウスピ・サコ）が2021年度に新設した全学部共通カリキュラム「社会実践力育成プログラム」内に、当社が展開する学生レジデンス「CAMPUS VILLAGE（キャンパスヴィレッジ）」シリーズの住まい方を題材とした産学連携ワークショップ講座「ThinQ Life! Project」を開設することをお知らせいたします。

■ 「ThinQ Life! Project – 産学連携くらし方創造プロジェクト –」の概要

本プロジェクトの目的は、学生にとってより良い居住空間のあり方を、実際の運営に即して考えることで、学生の社会実践力を養うと共に、学生時代における住まいの重要性をあらためて見つめ直すことです。

当社が展開する学生レジデンス「CAMPUS VILLAGE（キャンパスヴィレッジ）」では、学生の豊かな交流体験や快適な居住空間の創出を目指し、学生と企業が協力してさまざまな取り組みを行ってまいりました。

本プロジェクトでは、京都精華大学と連携し、キャンパスヴィレッジを舞台に、どのような住まい方・共用部の使い方ができるかを考え、新たなサービスや付加価値の「共創」に取り組んでまいります。



■ 京都精華大学「社会実践力育成プログラム」における当社ワークショップの概要

京都精華大学は 2021 年度、全学部共通の選択科目群として「社会実践力育成プログラム」を新設。そのなかでも体験型学習に焦点を当てた「国内ショートプログラム」において、本プロジェクトが開設されます。

本プロジェクトでは、2021 年 8 月から 9 月にかけて、京都市内のキャンパスヴィレッジを対象にワークショップを行います。実際に運営中のキャンパスヴィレッジの視察や、当社社員とのディスカッションを通して、キャンパスヴィレッジでの住まい方を検討し、提案していただきます。

社会実践力育成プログラムの詳細は、京都精華大学 HP をご参照ください。

https://www.kyoto-seika.ac.jp/news/2021/0521_1.html

■ CAMPUS VILLAGE（キャンパスヴィレッジ）について

キャンパスヴィレッジは、当社が開発し、当社グループの学生情報センター（本社：京都府京都市、代表取締役社長：吉浦 勝博）が運営する学生レジデンスです。

全国で 13 物件、人口比で学生比率が多い「日本一の学生のまち」である京都において 4 物件を展開しています。2021 年度末までに京都市内で新たに 2 物件が竣工予定です。キャンパスヴィレッジの詳細は HP をご覧ください。

<https://campusvillage.jp/>

■ キャンパスヴィレッジ京都下鴨東

住 所：京都府京都市左京区田中西浦町 44 番地
交 通：叡山電鉄叡山本線「元田中」駅 徒歩 3 分
総 戸 数：81 室



キャンパスヴィレッジ京都下鴨東（外観）

■ キャンパスヴィレッジ京都伏見

住 所：京都府京都市伏見区竹田北三ツ杭町 24 番 1
交 通：京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅 徒歩 4 分
総 戸 数：95 室



キャンパスヴィレッジ京都伏見（外観）

■ キャンパスヴィレッジ京都一乗寺

住 所：京都府京都市左京区高野泉町 6 番 109
交 通：叡山電鉄叡山本線「一乗寺」駅 徒歩 8 分
総 戸 数：115 室



キャンパスヴィレッジ京都一乗寺（内装）

■ キャンパスヴィレッジ京都西京極

住 所：京都府京都市右京区西京極北大入町 64 番地
交 通：阪急電鉄京都線「西京極」駅 徒歩 13 分
総 戸 数：113 室



キャンパスヴィレッジ京都西京極（外観）



■ 長期ビジョンで取り組むテーマと、貢献するSDGs

東急不動産ホールディングスグループは、2021年「長期ビジョン2030」において「WE ARE GREEN」をスローガンに、価値を創造し続ける企業グループを目指し、グループの強みを活かして、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来をつくることを宣言しました。その実現のために、6つの取り組みテーマ（マテリアリティ）を定め、それに基づく4つの重点戦略を掲げています。これらの取り組みは、2015年に国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献すると考えます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）及びSDGsは以下の通りです。

《本リニューアルにおける取り組みテーマ(マテリアリティ)》



ウェルビーイングな
街と暮らしをつくる

街と暮らし

東急不動産ホールディングスグループ「長期ビジョン2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

《貢献するSDGs》



「No.17 パートナーシップで目標を達成しよう」 学生との連携を実施。

